

第5次太子町総合計画基本計画（案）修正対応表

ページ	項目	確認・対応
1	「概括的に『住民』『事業者』『行政』の役割を記載すべきでは」との意見を受けて、「I 基本的事項」のなかで新たな項目を起し「行政と住民が協働で」の趣旨を記載してはどうかとの指摘があったことへの対応	【P1】「2. 住民・事業者・行政との協働について」を追記
2	「政策に対する評価について」の説明は、用語説明など他のページに記載した方がよい	【P2】「4. 計画の進行管理」の次に移動
4	施策の記載で、語尾が「進めます」と「推進します」が混在しており、同じ意味なので表現の統一が必要「図ります」があるので前者「進めます」が適当では	【P4】「図ります」、「進めます」に修正
4	「II 基本計画の大綱」の、最下段「① 行政サービスを提供できる職員を育成します」は、一般的に職員が行っている事であり、目指すところがわからないので何らかの言葉の補足が必要	【P4】「より質の高い行政サービス」に修正
6	「(1) 子育て環境の向上」で、方針の中に、町長が表明した『子育て世代包括支援センターの設置』を加えるべきではないか	【P6】〈施策〉の中に『太子町子育て包括支援センター（仮称）』を設ける』ことを追記した。
6	目標の99.0以上と95.0以上は100にした方がいいのでは	【P6】他の計画と整合でこのままとした
7	評価指標「子育て支援センター利用者数」は親と子の数ですか	【P7】（親・子両方を含む）を追記
8 他	評価指標「ひとり親家庭相談数」増えた方がいいのか、減った方がいいのか。表現方法の見直し	【P8】【相談体制の充実】を図ることとし、相談数の増加を図ることとした
8 他	1-(1)-③の指標「ひとり親家庭相談数」の目標値が矢印になっている。また、他の施策では「〇〇以上」や「数値のみ」の記載もあり統一すべき。目標としては、〇〇以上・〇〇以下の記載が適切だが、言わずもがなであれば数値だけで意味は通じるのでは	【P8】個々の表現や他の計画との整合もあり統一できない
9	「(2) 住民の健康づくりの推進」で、基本構想にある「自然資源を活用して心身の健康増進に取り組みます」に対応した記載がない	【P10】〈施策〉に「身近な自然資源を活かした心身の健康増進として、健康ウォーキング講習会など」について追記
10	「健康づくり・食育を推進します」の施策の記載で、健康マイレージ事業の寄付制度を「・・・を対象事業とするなど」に含めて表現しているが、寄付制度は平成27年度から実施済みなので削除するか記載内容の変更が必要	【P10】「また、これまで町会・自治会や小中学校のPTAなどがつくる団体に寄付できる制度を実施していますが、」のように修正
11	1-(2)-②の評価指標が「1人当たりの医療費」になっているが、地域医療の充実の指標に適切か。「開業医の数」が直接的な指標の一つになるが、医療費を指標とするならば引き下げが地域医療の充実になるとの説明が可能か	【P11】〈評価指標〉に、「三大疾患による死亡率」を追加
14	1-(3)-①の評価指標に「CSWの数」があるが、役場職員の人数は指標になじまない。福祉センターの利用者数など他の指標設定ができないか	【P14】〈評価指標〉「総合福祉センター利用者数」に変更
15	1-(3)-②の評価指標「乗合ワゴンの利用者数」は、平成26年度は短期の試行実施であったため、平成27年度の見込み数の方が5年後の比較対象に適切ではないか	【P15】〈評価指標〉乗合ワゴン利用者を27年度の見込み数延べ6,300に、目標値を延べ7,200に修正
15	また、平成31年度と但し書きをすると、H31年度で事業終了ととらえられるため、年度を記載しない方がよい	【P15】平成32年度の表記は削除
16	評価指標と目標「就労移行支援」の1から5、ベースは何	【P16】根拠を「障がい福祉計画」である旨記載

ページ	項目	確認・対応
16	1-(3)-④の住民の責務で「ともに支え合う社会の実現に努めます。」とあるが、住民に求めるものではなく、町全体として行政を進めるべき内容なので修正が必要。例えば、「ともに支え合うという意識を持って、すべての人たちが住みやすく感じるまちづくりに貢献します。」とか	【P16】〈行政とともに住民、事業者・団体が行うこと〉を「障がいを正しく理解し、ともに支え合うという意識を持ち、社会の実現に努めます」に修正
16 他	1-(3)-③の下段の注釈(※)は、別途、用語の説明として集約した方がよい	製本で用語の説明として集約
18	「(1) まちの安全性・快適性の向上」で、基本構想にある「公民館や・・・の適正な更新・効率的な維持管理を進めます」に対応する記載がない。町長が9月議会で答弁した「公共施設の老朽化対策事業として・・・町立公民館を建て替えリニューアルし生涯学習機能はもちろんのこと、広く多くの住民の皆さんがご利用できるよう、新たな建設計画のもと本町の中心となる施設として計画していきたい」を加えるべきでは「これまで大きな災害は発生していませんが」は「いつ発生するかわからない」にすべきでは	【P18】〈現状と課題〉に〈いつ発生するかわからない災害〉〈方針〉に〈町立公民館の建て替え、生涯学習機能の向上〉について追記
20	施策（行政が行うこと）でハード面、例えば、歩道の設置などの記載がない	【P20】〈施策〉に〈大阪府の協力のもと、歩道設置など歩行者の安全対策を進めます〉を追記
21	「②景観の向上を図るとともに上下水道の整備を進めます」で、上下水道だけではない	【P21】②を「景観の向上を図るとともに、住環境の整備を進めます」と修正
21	大阪広域水道企業団への事業移管が確定しており、計画内容に反映すべきでは	【P21】〈施策〉に「平成29年4月から大阪広域水道企業団が事業を実施しますが、水道サービスの質が低下しないよう円滑な移管を目指します」を追記
22	「③ 道路交通体系の充実を図ります」で、住民、事業者・団体が行うこととして「自動車利用から、バス、自転車利用」とあるが、これは「① 協働により自然環境の保全」に該当し、「歩行や自転車利用のルール」は「① 安心・安全」に該当するのでは	【P24】〈行政とともに住民、事業者・団体が行うこと〉に「○自動車利用から、バス、自転車利用を心がけます」を追記 【P20】〈行政とともに住民、事業者・団体が行うこと〉に「○歩行や自転車利用のルールを守ります」を追記
22	「③ 道路交通体系の充実を図ります」で、基本構想では「特に高齢者の生活に欠かせない公共交通の充実を図り」とあり、10年間で『公共交通』として何らかの対応は必要になる。『外出支援』を切り離して考えるなら記載場所は「② 高齢者福祉の充実」になるのでは？公共交通の一端であれば公共交通に関連させた記載が必要ではないか	【P15】〈施策に対する評価〉に「乗合ワゴンの利用者数」を追記
23	〈政策に対する評価指標〉で目標を「維持もしくは向上」とあるが、「維持」は不要	【P23】〈施策に対する評価〉で、「維持もしくは向上」を削除
24	施策（行政が行うこと）で、町は何をするのか	【P24】〈施策〉に、「自然環境保全活動を支援すること」、「各種イベントの参加を促進すること」を追記
25	ごみ排出量の記載方法を一人当たりには	【P25】町全体の傾向を把握するため、総排出量に変更
25	評価指標に「古紙回収団体数」を追加してはどうか	【P25】将来の増加が見込めないため記載しない
25	住民が行うことに「資源ごみの回収」を追加してはどうか	【P25】〈行政とともに住民、事業者・団体が行うこと〉に〈資源ごみの分別に取り組む〉ことを追記
26	(1) 地域経済を支える産業の振興で、商店からの要望や目線はないのか	【P26】〈現状と課題〉に「商工業者の次世代リーダー育成と若い力による活力増強への期待は大きく、商業については消費者の要望を把握した商業機能の充実を、また工業については既存企業の強化を図るとともに企業誘致に取り組むなど、創意工夫を重ねた産業の振興を図る必要があります」を追記

ページ	項目	確認・対応
26	「(1) 地域経済を支える産業の振興」の方針に「農地の保全」とあるが、基本構想に合わせて「農空間の保全」のほうがよいのでは	【P26】〈方針〉に〈農空間の保全〉と修正
26	「(1) 地域経済を支える産業の振興」で、基本構想にある「地産地消の強化や、体験型農業の推進により付加価値の向上を図ります」「商業施設、交通手段などの生活利便機能の向上を図るなど」に対応した記載がない	【P27】〈施策〉で、「地産地消の強化」、「体験型農業の提供」について追記 【P28】〈施策〉に「生活の利便性を高めるため」を追記
26	施策（行政が行うこと）で、町は何をするのか	【P26】〈方針〉に「活性化を図るため地域資源を活用したものづくりに取り組む」ことを追記
27	農地中間管理機構とは	【P27】欄下に補足説明追記
27	特に、地産地消は、事業者・団体が行うこととしているが、教育で学校給食への積極的な使用を述べており、行政が行うことにも何らかの記載が必要	【P27】〈施策〉に、「地産地消の強化や、子どもたちへの食育の充実をはかるため、地元食材の学校給食利用の充実を図ります」を追記
27	「① 都市農業の振興を図ります」に、アンテナショップとか生産性の向上に向けた目標がない	【P27】〈施策に対する評価指標〉に「道の駅販売額」を追加
28	評価指標「事業所数」は4増でいいのか	【P28】現状維持を基本としており、カインズ及び併設スーパー2件+2件としている
29	「(2) まちの魅力を活かした交流の推進」で、基本構想にある「太子ブランドの開発やPRを行います」「安心して歩ける道路づくりを進め、町内観光地を周遊する機能を高めます」「観光ルートの設定や施設の整備を図ります」に対応した記に対応した記載がない	【P29】〈現状と課題〉に「太子ブランドの開発やPRを進めるなど、太子町を広くアピールして知名度の向上を図るとともに、多くの来訪者に気持ちよく過ごしてもらうためのメニューや、安心して歩ける道路づくりを進め、周遊コースの選定や、施設の整備などを図る必要があります」を追記
29	二上山や太子温泉の記載は	【P29】〈方針〉に、「歴史的遺産、二上山などの自然環境を活用し、その魅力発信に努めます。また、観光や町おこしに寄与する各種民間施設と連携し、にぎわいの感じることのできるまちづくりに努めます」を追記
30	「① 観光・レクリエーションの振興を図ります」の評価指標の記載がわかりにくい。「イベント参加者数」では住民の参加と捉えられるため、例えば「イベントによる集客数」とか。また、「観光ボランティアガイド受入者数」では実際にガイドとして活動した人の数ともとえられるため、例えば「・・・利用者数」とすべきでは	【P30】〈施策の評価〉、イベント集客数に「町内外を含む」を追記
31	「(3) 消費生活・就労の支援」の〈政策に対する評価指標〉で、「過年度よりも向上」とあるが、比較対象とできる数値の用途はあるのか。なければ何らかの数値設定が必要では	【P31】「普通」3.0を設定
31	「(3) 消費生活・就労の支援」で、基本構想にある「企業誘致による雇用の拡大に努めます」に対応した記載がない	【P31】〈現状と課題〉に「企業誘致や雇用の拡大に努める必要がある」と追記
31 他	「(3) 消費生活・就労の支援」の「現状と課題」の表現の統一。末尾「・・・定着を図ることが必要です。」⇒「・・・定着を図る必要があります。」	【P31】〈現状と課題〉について「定着を図る飛鳥があります」と修正
33	就労支援コーディネーター制度とは。気軽に相談できる窓口は	【P33】〈施策〉で、「町役場に設置されている「地域就労支援センター」において、就労支援コーディネーターを配置し、町内の就労困難者が気軽に就職や雇用に関して相談できる体制の充実を図ります」と修正

ページ	項目	確認・対応
35	英語だけでいいのか	【P 3 5】〈施策〉に「英語教育の充実によるコミュニケーション能力の育成や、情報活用能力を高めるためのICT活用教育の調査研究に取り組む」ことを追記
36	評価指標の団体とは。PTAは	【P 3 6】〈施策に対する評価〉に見守り隊について記載
38	施策（行政が行うこと）で、公民館やコミュニティセンターの記載は	【P 3 8】〈施策〉「老朽化した公民館を建て替え、生涯学習活動の拠点となる複合施設を整備します。さらに、学校図書室と連携し、児童生徒の読書活動を推進」することを追記
40	「(3) 地域への愛着心の醸成」の「現状と課題」の表現が誤っている。各末尾「・・・を図ります。」では方針になってしまう。⇒「・・・を図る必要があります。」に修正	【P 4 0】〈現状と課題〉「…必要があります」に修正
41	「(3) 地域への愛着心の醸成」の、政策に対する評価指標でここだけアンケート以外の「自治会加入率」を使用しているため、①の評価指標とすべき	【P 4 1】「施策」に対する評価指標と目標に移動
41	「① 個性豊かなコミュニティ活動の促進を図ります」の評価指標で、「第3次健康太子21」の評価指標に「近隣との付き合いをしている人 87.7%」「地域活動をしている人 65.9%」との設定があるため、これらの採用を検討しては	【P 4 1】〈施策に対する評価指標と目標〉に「町会・自治会加入率」で対応
41	また、〈施策に対する評価指標〉の32年度数値は「延べ数」ではないのか。延べ数であれば注釈が必要	【P 4 1】〈施策に対する評価指標と目標〉に年度を記載
45	女性職員の割合は	他計画で対応
47	「① 住民主体のまちづくりを進めます」のみが、施策の評価指標にアンケート項目を挙げているので「(1) 住民との協働の推進」の評価指標とすべき	実施計画及び後期基本計画で検討
48	「(2) 効率的・効果的な行政経営」で、基本構想にある「住民ニーズが的確に把握できる情報システムの構築」に対応した記載がない	【P 4 8】〈現状と課題〉に「住民ニーズを的確に把握できる情報システムの構築も必要」を追記
49	「ふるさと太子応援基金寄付」の増額を「① 行財政改革の実行を進めます」に挙げているが、制度の実際の方向としては、産業や特産品のPRの評価指標とすべきでは	【P 3 0】「施策」に対する評価指標と目標に移動
50	事務だけか。図書室やスポーツ施設の連携は、6市町村以外は	【P 5 0】代表で共同処理を行う事務数を記載
52	①の施策が「効率的かつ効果的な行政経営に対応できる職員の能力開発」の意味が反映されていない	【P 5 2】「①より質の高い行政サービス」に修正
共通	〈「政策」に対する評価指標と目標〉に記載の平成26年の数値が適切でなく、分母にアンケートでの「わからない」の回答者数が含まれ、0点として積み上げられているため、評価指標が押し下げられている。満足から不満の5段階分の回答者数で算出すべき。【全政策共通】	【P 5 2】評価方法を算出し直し修正
共通	〈「政策」に対する評価指標〉に記載の平成32年の目標は、すべて右肩上がりの矢印なので、個々に記載する必要がないのでは？例えば、「Ⅱ 基本計画の大綱」と「Ⅲ 基本計画」の間に新たに項目を設けて、政策に対する指標として一括掲載し、目標として『評価指標の向上を目指す。』とすることもありでは【全政策共通】	個々の政策で確認できるように、修正せず

ページ	項目	確認・対応
	【住民アンケートの反映】	
	政策の指標に活用している住民アンケートを活用する	
9	「7. 身近に必要な医療サービスが受けられる環境」⇒ 1-(2)	【P 9】〈評価指標〉に「身近に必要な医療サービスが受けられる環境」を追記
18	「12. 町内外を結ぶ主要道路の便利さ」⇒ 2-(1)	【P 18】〈評価指標〉に「町内外を結ぶ主要道路の便利さ」を追記
19	「14. バスなど公共交通機関の便利さ」⇒ 2-(1)	【P 19】〈評価指標〉に「バスなど公共交通機関の便利さ」を追記
19	「16. 犯罪の防止や交通安全の度合い」⇒ 2-(1)	【P 19】〈評価指標〉に「犯罪の防止や交通安全の度合い」を追記
19	「18. 消防・救急の体制」⇒ 2-(1)	【P 19】〈評価指標〉に「消防・救急の体制」を追記
23	「22. 憩い、交流の場となる公園や広場などの環境」⇒ 2-(2)	【P 23】〈評価指標〉に「憩い、交流の場となる公園や広場などの環境」を追記
26	「26. 買い物など日常生活の利便性」3-(1)	【P 26】〈評価指標〉に「買い物など日常生活の利便性」を追記
29	「29. 太子町のよさのPR等外部への情報発信の現状」⇒ 3-(2)	【P 29】〈評価指標〉に「太子町のよさのPR等外部への情報発信の現状」を追記
37	「3. 文化活動やスポーツ・レクリエーション活動ができる環境」⇒ 4-(2)	【P 37】〈評価指標〉に「文化活動やスポーツ・レクリエーション活動ができる環境」を追記
40	「11. 近所の人たちと支え合いながら暮らせる環境」⇒ 4-(3)	【P 37】〈評価指標〉に「文化活動やスポーツ・レクリエーション活動ができる環境」を追記